



# わたぐもこどもセンターだより 10月号



## 3・4・5歳児クラス交流会「えいごでハロウィン」(9/24より予約開始)

※ネット・お電話での予約はできません。

保育園の以上児クラスのお友達とハロウィンを楽しみましょう！

親子で参加していただきます。(お子さん1人に保護者1名)

日時：令和6年10月29日(火) 10:15~11:15

定員：3歳以上 6組

場所：わたぐも保育園2階ホール

持ち物：水分補給できるもの



## 避難訓練

10月7日(月)

10:30~

地震を想定した避難訓練を行います。

来所者には全員、参加して頂きます。

## 育児講座「わらべうたあそび」(9/24より予約開始)

※ネット・お電話での予約はできません。

わらべうたあそび講師の島田先生をお迎えして、親子でふれあいながら楽しい時間を過ごしましょう。

日時：令和6年10月17日(木) 10:00~11:00

場所：わたぐもこどもセンター

定員：0歳児、1歳児 10組

講師：島田 朋子 先生

保育士・子育て支援コーディネーター・地域子育て支援士

市川市内で未就園児親子対象「親子わらべうた市川まめっちょ」主催

幼児、小学生のための「市川わらべうたの会」主催



## 子育てコラム 食事編

〈手づかみ食べは赤ちゃんの成長にとって必要なステップです。〉

食べ物にさわる、その感触や温度を感じる、食べ物がこぼれたり落ちたりするのを見る、といった一連の出来事は、赤ちゃんの好奇心や五感を刺激します。また、食べ物をつかんだり口に運んだりすることで、ものと自分との距離感を学びます。

こうして、自ら触れることで感覚機能・運動機能・認知力が身についていきます。

さらに、手指の皮膚への刺激は、赤ちゃんの脳の発育にもとても大切です。

手づかみ食べ期は、赤ちゃんに周りを汚されることに大人はイライラしてしまうシーンもあります。

テーブルの下にレジャーシートや新聞紙を敷いたり、汚れてもいい服で食事したりして、自分や赤ちゃんを責めずに過ごしてくださいね。

〈手づかみ食べから一歩進むとスプーンを使い始めます〉

じゅうぶんに手づかみ食べを経験することで、スプーンで食べ物をすくう手首の操作、食べ物を落とさず保つ手指の調整、口元まで運ぶ一連の動作につながってきます。

スプーンはしっかり握れるよう、太めの柄のものを選ぶと良いでしょう。一口量を知らせるためにもたくさんすくえてしまうスプーンは避けましょう。

上手持ち→下手持ち→3点持ちと移行し、ゆくゆくはお箸へとつながっていきます。

この過程がないと、上手にお箸が使えなくなることもあります。

(参考 子育て応援サイト MiMi STAGE・合同出版 子どもの発達にあわせて教える )